

## 2012 年度 消費者・市民教育モデル事業 報告書

2013 年 3 月 28 日  
社会的責任に関する円卓会議  
旧人を育む基盤の整備WG共同主査

### I. 2012 年度の取り組みの概要

「旧人を育む基盤の整備ワーキンググループ」では、協働プロジェクトの一つとして消費者・市民教育モデル事業の地方展開を掲げるなど、持続可能な社会を担う人材の育成に取り組んでいる。

2012 年度も、2010 年度、2011 年度のモデル事業(※)に引き続き、文部科学省が主催する「消費者教育フェスタ」を神戸、東京の 2ヶ所で開催した。開催に際して、企業・業界団体、消費者団体等に対して、資料・教材の展示やデモンストレーション授業の実施、ワークショップへの参加等呼びかけるなど、企画・実施に協力した。

※ 2010 年度の取り組み：消費者・市民教育モデル事業を東京で実施

- ① 日時：2011 年 2 月 22 日
- ② 場所：文部科学省東館 3 階講堂
- ③ シンポジウム：テーマ「持続可能な社会を担う人材育成への提言～それぞれの立場から～」
- ④ 模擬授業：消費者団体や事業者など 14 団体が実施
- ⑤ 資料・教材の展示：37 団体が資料・教材を展示
- ⑥ 参加者数：都道府県・教育関係者約 190 名、各セクター関係者約 140 名など約 330 名が参加

※ 2011 年度の取り組み：消費者・市民教育モデル事業を東京、岐阜で実施  
[東京会場]

- ① 日時：2012 年 1 月 18 日
- ② 場所：文部科学省東館 3 階講堂他
- ③ パネルディスカッション：テーマ「多様な主体の連携・協働による自立した消費者・市民の育成について」
- ④ 資料・教材の展示：36 団体が資料・教材を展示
- ⑤ 参加者数：約 200 名

[岐阜会場]

- ① 日時：2012 年 2 月 22 日、23 日
- ② 場所：岐阜市立長良東小学校、岐阜市立東長良中学校他
- ③ シンポジウム：テーマ「地域社会における消費者教育 ～連携・協働をテーマに生まれるもの～」
- ④ デモンストレーション授業：32 の企業・団体が生徒や保護者等に実施
- ⑤ 資料・教材の展示：38 の企業・団体が実施
- ⑥ 参加者数：2 日間で延べ約 1000 人

## Ⅱ. 消費者教育フェスタ in 神戸の概要

(1) 日時：2013年1月30日(水)～31日(木)

(2) 場所：(1月30日)神戸市男女共同参画センター、神戸市立湊翔楠中学校 他  
(1月31日)神戸文化ホール(中ホール)

### (3) 企業・団体によるデモンストレーション授業

◇「社会的責任に関する円卓会議 人を育む基盤整備WG」の共同主査として経団連から企業・団体等に協力を呼びかけた。

◇企業・消費者団体、NPOなど 21団体(※)が、小中高の学生や保護者、消費者等を対象にデモンストレーション授業を実施した。

◇各教室では、15～30名ほどの生徒が参加した。

◇学校教育関係者や一般市民等の参観も目立った。受講した生徒に加え、多いところでは数十名以上が、立ち見等で授業を熱心に聞き入っていた。

### [※ デモンストレーション授業・実施団体、プログラム一覧]

<小学校>

(5年生対象)

◆パナソニック「エコモノ語」、◆兵庫県金融広報委員会「小学校における金融教育」

◆東芝「ペーパータオルテスト」

(6年生対象)

◆シャープ「小学校環境教育」、◆カルビー「カルビースナックスクール」

<中学校>

(1年生対象)

◆特定非営利活動法人ACE「おいしいチョコレートの真実」

◆SMB Cコンシューマーファイナンス「カードゲーム『お金の役割』」

◆大阪ガス 兵庫リビング営業部「『エコ・クッキング』出張授業」

◆花王「生活と地球環境との“調和”をめざすモノづくり」

◆KDDI「KDDIケータイ教室」

◆国民生活センター「中学生にも起こりうるインターネットにまつわる消費者トラブル」

◆コニシ「接着の原理」

◆コープこうべ「生活協同組合(コープこうべ)の事業と活動について『生活協同組合とは』」

◆消費者教育支援センター「身近な製品の安全を考えよう！」

◆第一生命保険「ライフサイクルゲームⅡ ～生涯設計のススメ～を使って未来を体験。ライフプランを考えてみよう」

◆日本クレジット協会「クレジットカードの仕組みと利用上の留意点」

◆日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会「自立した消費者になりましょう(消費者として自覚を持ちましょう)」

<高等学校>

(2年生対象)

◆生命保険文化センター「生命保険実学講座」

◆日本ファイナンシャル・プランナーズ協会「高校生のためのライフプランニング」

◆全国銀行協会「カードゲームで生活設計を体験してみよう」

#### (4) 消費者教育に関する教材・資料の展示

◇「社会的責任に関する円卓会議 旧人を育む基盤整備WG」の共同主査として、企業・団体等に協力を呼びかけた。

◇30の企業・団体等(※)が教材・資料の展示に協力した。

◇多くの来場者が資料を手にとったり、持ち帰ったりする様子が見られた。  
全て無くなった無料配布資料も多い。

#### **※ 教材・資料の展示 実施団体一覧**

大阪ガス、花王、カルビー、金融広報中央委員会、経済広報センター、コープこうべ、シャープ、消費者関連専門家会議(ACAP)、消費者教育支援センター、生命保険文化センター、全国銀行協会、全国消費生活相談員協会、全国大学生生活協同組合連合会、第一生命保険、東芝、トヨタ自動車、日本クレジット協会、日本自動車工業会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(NACS)西日本支部、日本ファイナンシャル・プランナーズ協会、日本弁護士会連合会、日本労働組合総連合会、野村ホールディングス、パナソニック、KDDI、SMB Cコンシューマーファイナンス、(特非)ACE、(独)国民生活センター、神戸市、消費者庁

#### (5) ミニパネルディスカッション

「学校・教育委員会」、「消費者行政部局」、「消費者団体」、「事業者」の各セクターが、それぞれ7～8名でパネルディスカッションを行い、それぞれのセクター内で抱える課題について共有した。

#### (6) パネルディスカッション：「神戸から発信するこれからの消費者教育」

<コーディネーター> 西村 隆男 横浜国立大学教授

<パネリスト> 根岸 哲 神戸大学名誉教授・甲南大学法科大学院教授

今北 恵子 神戸市教育委員会指導部指導課中等教育係指導主事

馬場 新一 公益社団法人消費者関連専門家会議 西日本支部長

大伴 洋子 神戸市消費者協会

◇学識経験者、消費者団体、事業者団体など、様々なセクターのパネリストが、今後の消費者教育の連携・協働の推進に向けた課題について、意見交換した。

### Ⅲ. 消費者教育フェスタ in 東京の概要

(1) 日時：2013年2月27日(水)～28日(木)

(2) 場所：イイノホール

イイノホールカンファレンスセンター(ルームA、ルームB)

(3) リレートーク「さまざまな視点から、消費者教育を考える」

① 消費者教育フェスタ in 神戸の報告

荒木 武文 神戸市市民参画推進局市民生活部消費生活課長

② 学校教育における消費者教育の広がり

坂野 美恵 岐阜市教育委員会学校指導課主査(岐阜市教育研究所)

③ 社会教育における企業との連携

近藤 真司 (財)日本青年館「社会教育」編集長

木村 嘉男 野村証券株式会社 投資情報部次長 兼 証券学習開発課長

④ 持続可能な社会を担う人材とは

古谷由紀子 社会的責任に関する円卓会議 旧人を育む基盤の整備WG共同主査  
(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(NACS)常任顧問

◇リレートークでは、それぞれのテーマに沿って、自治体、学校教育関係者、企業等から、取り組みの説明がなされた。あわせて、旧人を育む基盤の整備WGの古谷共同主査より、社会的責任に関する円卓会議について説明するとともに、旧人を育む基盤の整備WGの有志で検討した「持続可能な社会を担う人を育むための原則(素案)」について紹介した。

(4) パネルディスカッション「ともに作り上げる消費者教育の姿とは」

～消費者教育推進法の施行を受けて～

<コーディネーター> 西村 隆男 横浜国立大学教授

<パネリスト> 上村 協子 東京家政学院大学教授

市毛 祐子 茨城県教育庁高等教育課指導主事

清國 祐二 香川大学生涯学習教育研究センター

河野 康子 全国消費者団体連絡会事務局長

長谷川公彦 (公社)消費者関連専門家会議(ACAP)専務理事

古谷由紀子 社会的責任に関する円卓会議 旧人を育む基盤の整備WG共同主査 NACS 常任顧問

◇有識者、学校教育関係者、消費者団体、事業者等のパネリストが、消費者教育推進法の施行を受け、さらなる連携・協働を促進するための課題について、議論した。

## (5) 分科会

### ① 学校教育分科会 ～学校における取り組み事例の発表～

(イ) 講演 「北欧の消費者教育と消費者教育推進法について」

島田 広 弁護士

(ロ) 事例発表 (a) 栃木県宇都宮市立陽西中学校の事例(技術・家庭科(家庭分野))

富田 友子 栃木県宇都宮市立陽西中学校 校長

大川 美子 栃木県宇都宮市立陽西中学校 教諭

(b) 高知県教育委員会の事例(教員研修等の取組)

別役 千世 高知県教育委員会高知県教育センター 指導主事

### ② 社会教育分科会 ～地域における連携・協働のヒント～

(イ) 事例発表 (a) 地域をつなげる“子ども大学”

加藤 美幸 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課副  
課長 兼 主任社会教育主事

(b) 地域総働型のESDの取組

池田 満之 NPO法人持続可能な開発のための教育の10  
年推進会議(ESD-J)副代表理事

(c) マルチステークホルダーによる取組

戸田 達昭 やまなしの翼プロジェクト代表

(ロ) 意見交換 [進行] 清國 祐二(香川大学生涯学習教育研究センター長)

◇学校教育分科会と社会教育分科会に分かれ、消費者市民社会に関する有識者の講演や、地域で協働の取り組みを推進するための課題等について意見交換を行った。

## (6) ワークショップ「ともにつくる消費者教育」

<総合コーディネーター>

上村 協子 東京家政学院大学教授

あんびる えつこ 子供のお金教育を考える会代表

<ファシリテーター>

柿野 成美 公益財団法人消費者教育支援センター主任研究員

須黒 真寿美 公益財団法人全国消費相談員協会消費生活専門相談員

◇全国から約50名前後の参加者を募り、多様なセクターの関係者(教育、消費者行政、消費者団体、事業者団体等)が一同に会し、「ともにつくる消費者教育」をテーマに、グループ形式による共同作業を行った。

◇「社会的責任に関する円卓会議 旧人を育む基盤整備WG」の共同主査として、企業・団体等にワークショップへの参加を呼びかけた。

## (7) 消費者教育に関する教材・資料の展示

◇「社会的責任に関する円卓会議 旧人を育む基盤整備WG」の共同主査として、企業・団体等に協力を呼びかけた。

◇35の企業・団体等(※)が教材・資料の展示に協力。

◇多くの人々がフェスタの合間に、教材・資料の展示会場に立ち寄るなど、非常に盛況な様子であった。

### ※ 教材・資料の展示 実施団体一覧

(特非) ACE、SMB Cコンシューマーファイナンス、花王、カルビー、金融広報中央委員会、経済広報センター、KDDI、神戸市、(独)国民生活センター、コープこうべ、シャープ、消費者関連専門家会議(ACAP)、消費者教育支援センター、消費者庁、生命保険文化センター、全国銀行協会、全国消費生活相談員協会、全国大学生生活協同組合連合会、(特非)育て上げネット、損害保険ジャパン、第一生命保険、東京都墨田区立八広小学校PTA、東芝、トヨタ自動車、日清製粉グループ本社、日本クレジット協会、日本自動車工業会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(NACS)、日本生活協同組合連合会、日本損害保険協会、日本ファイナンシャル・プランナーズ協会、日本弁護士会連合会、日本労働組合総連合会、野村ホールディングス、文部科学省

## IV. 消費者教育フェスタ in 神戸の様様

日時：2013年1月30日(水) 13:30～17:30

31日(木) 9:20～12:00

場所：(1日目)神戸市男女共同参画センター、神戸市立湊翔楠中学校 ほか

(2日目)神戸文化ホール(中ホール)

### 1. 1日目(1月30日)

#### (1) 小・中・高校での消費者教育の授業公開

小中高の教員が生徒を対象に、様々な教科で消費者教育をテーマとした授業公開を実施した。

##### 【公開授業内容一覧】

◆小学校			
【教科等】	【学級】	【場所】	【学習内容】
家庭科	鹿の子台 小学校 6年4組	婦人会館 つばき (4F)	「工夫しよう暖かな生活」
社会科	成徳小学 校 5年1組	婦人会館 もくれん (4F)	「情報化社会を生きる」
◆中学校			
社会科	湊翔楠中 学校 1年1組	湊翔楠中 学校普通 教室1-1	「安全で安心できる消費生活のために」
技術・家 庭科	湊翔楠中 学校 1年3組	湊翔楠中 学校普通 教室1-3	「食品の選び方を考えよう～食品の表示～」
数学科	湊翔楠中 学校 1年5組	湊翔楠中 学校普通 教室1-5	「商品パッケージについて考えよう」
◆高等学校			
英語科	葺合高等 学校2年 2組	総合福祉 センター 第5会議室	「NGO設立 ～世界の貧困に対して僕らができること～」

【教員による消費者教育授業公開の様様】



## (2) 企業・団体によるデモンストレーション授業

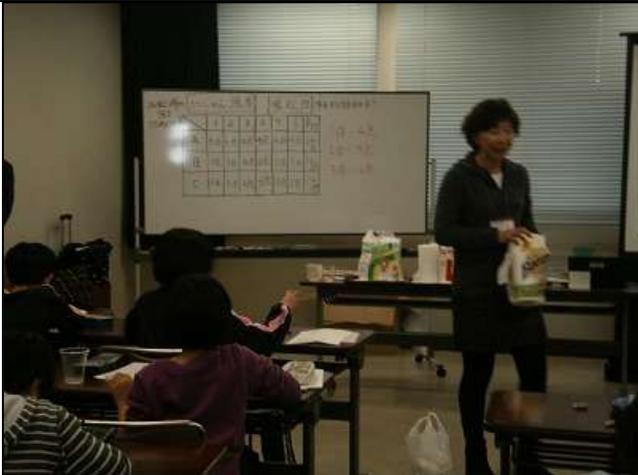
◇企業・行政・消費者団体などが小中学生・保護者を対象にデモンストレーション授業を実施した。

### 【各企業・団体によるデモンストレーション授業の概要】

#### <小学校>

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
パナソニック	成徳小学校第5学年	つばき(4F)
<b>【授業概要】</b>	<b>【授業風景】</b>	
<p>「エコモノ語」</p> <p>このプログラムは、子どもたちの生活に身近な家電製品を題材とした社会科・環境教育プログラムで、小学校5年生の社会科単元と連動している。家電製品が進化してきた歴史や、環境問題の解決に向けて、モノづくりを支える役割の人がそれぞれの立場や努力や工夫を行っていることを学んだ上で、自分達にできることは何かを考える。</p>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
兵庫県金融広報委員会	成徳小学校第5学年	もくれん(4F)
<b>【授業概要】</b>	<b>【授業風景】</b>	
<p>「小学校における金融教育」</p> <p>「お買い物ゲーム」を通してお金の使い道について話し合う。お金には生活を豊かにするなど、様々な役割があることを知り、これからの生活で、おこづかいなどお金を大切に使う態度を養う。</p>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
東芝	成徳小学校第5学年	すみれ(4F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「ペーパータオルテスト」</p> <p>数種類のペーパータオルを素材に、吸収力や湿潤強度(濡れたときの強さ)の実験や、価格/価値の観点から、消費者としてどのペーパータオルを選択すべきかを、実験や体験を通じて考える。このワークショップは、アメリカのUCバークレー校で開発された GEMS という体験型の理数教育プログラムのひとつであり、東芝が支援する NPO 法人体験型科学教育研究所(リアルサイエンス)と協働で行う。</p>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
シャープ	鹿の子台小学校第5学年	たんぼぼ(4F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「小学校環境教育」</p> <p>授業を通じ、地球温暖化の問題やエネルギーの大切さを理解し、環境に配慮した生活を促す。まず、協働する気象キャスターが、気象の専門家ならではのデータを使い、地球温暖化状況と原因の一つがCO<sub>2</sub>であることを分かりやすく説明し、CO<sub>2</sub>はエネルギーを使うと発生することを説明して、次の講義に繋げる。</p> <p>それを受け、CO<sub>2</sub>を発生しないエネルギー(電気)を創る方法の一つである「太陽光発電」について、当社の社員講師が、身近な設置事例や実験を交え解説する。最後に、授業を振り返り、児童が節電など、環境に優しい生活を実行することに結びつける。</p>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
カルビー	鹿の子台小学校第6学年	あじさい(4F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「カルビースナックスクール」</p> <p>★表示の見方 カルビー『サッポロポテト つぶつぶベジタブル』を題材に、パッケージで表示の見方を説明する。</p> <p>★おやつの量と時間の話(体験ゲーム有) おやつの食べる量と食べる時間について、実際のポテトチップスを使い体験ゲームを行う。</p> <p>★DVD鑑賞 「たのしいおやつのたべかた」の3つのポイント「量・時間・裏面」をDVDを鑑賞してもらい、内容を深める。</p> <p>※ 以上45分の授業をパワーポイントとビデオ、体験ゲームを交えて実施する。</p>		

### <中学校>

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
KDDI	湊翔楠中学校第1学年	普通教室1-2(4F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「KDDIケータイ教室」</p> <p>子どもたちに、ケータイ、スマートフォン、インターネット、メール等を安心・安全に使ってもらうための様々な注意点について、事例を交えながら話す。</p> <p>ネットに掲載されている情報の判断、個人情報公開の危険性、ネットへの書き込み、SNSの注意点等、スライド資料に映像教材を加えて効果的に説明する。</p>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
日本クレジット協会	湊翔楠中学校第1学年	普通教室1-4(4F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「クレジットカードの仕組みと利用上の留意点」</p> <p>すでに国民の経済活動の中で浸透しているクレジット。最近では、携帯電話購入時に分割払いを利用される未成年者が増え、親権者の不用意な支払い延滞などによってトラブルになる事例も踏まえ、クレジットのしくみとその機能を理解するとともに、利用上の留意点を伝える。</p>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 西日本支部	湊翔楠中学校第1学年	普通教室3-1(3F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「金銭教育(クレジットカード、電子マネーなど見えないお金とのつきあい方)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お金」の概念と電子マネーの普及について知り、その特徴と対応を考える。</li> <li>・「欲しいもの(現在の手持ち金では買えない高金額のもの)」を入手する方法を検討することにより、意思決定のプロセスを体感し、また入手方法の内容を学ぶ。</li> <li>・目的達成および管理不能を防ぐため、金銭管理の重要性を知る。</li> </ul>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
全国消費生活相談員協会	湊翔楠中学校第1学年	普通教室3-2(3F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「自立した消費者になりましょう(消費者として自覚を持ちましょう)」</p> <p>契約の基本について</p> <p>私達のくらしは契約によって成り立っている。中学生いえども例外ではない。契約についてロールプレイを通じて、契約成立時期について確認する。(契約成立によって生じる権利と責任について説明)</p> <p>中学生のトラブル事例(①製品事故②雑誌での通販)を通じて、実習(あなたならどうする?) トラブルにあった時は消費生活センターに相談するなどの対処法も学ぶ。</p>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
国民生活センター	湊翔楠中学校第1学年	普通教室1-1(4F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「中学生にも起こりうるインターネットにまつわる消費者トラブル」</p> <p>パソコンだけではなく、携帯電話やスマートフォン、携帯ゲーム機や携帯音楽プレイヤーなど様々なものからインターネットに接続が可能となり、中学生がトラブルに遭うことも多くなってきている。</p> <p>中学生が遭いやすいインターネット上のトラブルにはどのようなものがあるのか、具体的な事例を紹介しながら、トラブルを防ぐための注意点について授業を行う。また、目ごろから家族でこうした機器の使い方について話し合っておくことの大切さにも触れてもらう。</p>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
特定非営利活動法人ACE	湊翔楠中学校第1学年	普通教室1-2(4F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「おいしいチョコレートの真実」</p> <p>チョコレートを通じてカカオ産業の児童労働の現状とわたしたちの生活のつながりを知り、問題の背景にあるグローバルゼーションや世界貿易の問題について考え、チョコレートを買う消費者として、世界の子どもたちのために行動を起こしてもらおうことを目的にしたACEオリジナルワークショップである。</p>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
コニシ	湊翔楠中学校第1学年	普通教室1-3(4F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「接着の原理」</p> <p>コニシ作成の接着読本(啓発資料)を中心に接着のしくみ・原理(機械的、化学的、物理的接着)と接着剤の種類と分類(素材・性状による分類、固化の仕方による分類)について、代表的な接着剤を例に全般を説明する。</p> <p>また、接着した素材を持ち込み、各種接着剤の特徴について説明しながらデモをする。</p>		

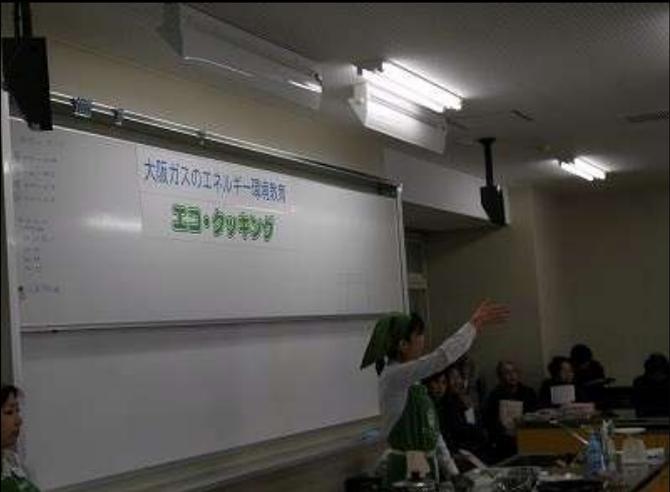
【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
コープこうべ	湊翔楠中学校第1学年	普通教室1-4(4F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>生活協同組合(コープこうべ)の事業と活動について 「生活協同組合とは？」</p> <p>(1) 地元の生活協同組合(コープこうべ)の存在、(2) ちょっと見ただけではわからない生協とスーパーマーケットの違い、(3) 生協の歴史、生い立ち、(4) コープ商品の説明、(5) その他、生協のさまざまな活動など、生協の「消費者」の立場として、日常の消費生活における生協の存在価値を知る学習の機会としたい。</p>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
第一生命保険	湊翔楠中学校第1学年	普通教室1-5(4F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ～を使って未来を体験。ライフプランを考えてみよう」</p> <p>ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ～を使用し、将来を疑似体験することで、ライフプランを描き、将来に向けた様々な対策が必要であることを学ぶ。またその対策の一つとして「リスク対策」があること、その中には、「消費者被害対策」も必要であることを学ぶ。</p>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
SMB Cコンシューマーファイナンス	湊翔楠中学校第1学年	普通教室3-1(3F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「カードゲーム『お金の役割』」</p> <p>J C F A (日本消費者金融協会) が作成している金融教育教材の「カードゲーム／お金の役割」を使用して、「物々交換の時代」と「物品貨幣の時代」を体験する。さらに、道具としてのお金の役割である「物を交換する」「価値をあらわす」「価値を蓄える」ことについて、カードゲームを通じて楽しみながら学ぶ。</p>		

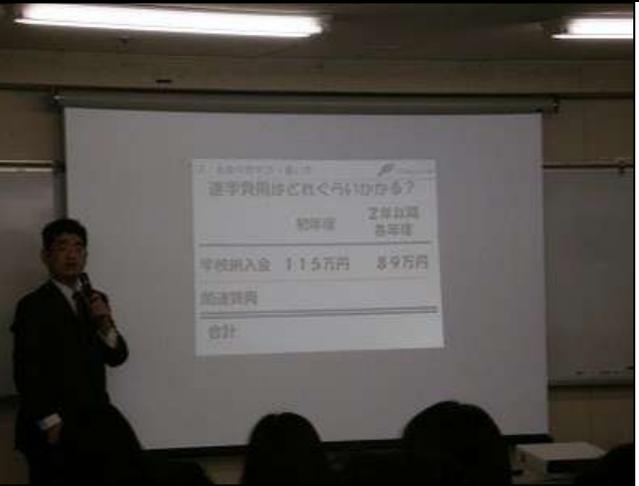
【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
消費者教育支援センター	湊翔楠中学校第1学年	普通教室3-2(3F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「身近な製品の安全を考えよう！」</p> <p>中学生向け教材『製品安全ワークブック』を使用して、身近な電気製品などの使い方を振り返り、製品事故が起こる原因とその対策について考える。特に、幼児や高齢者の特性を踏まえた、消費者の誤使用や不注意を防ぐための方策や家の中での安全な住まい方について考える。</p>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
花王	湊翔楠中学校第1学年	第1理科室(2F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>「生活と地球環境との“調和”をめざすモノづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な衣料用洗剤を事例に、商品を作るときの原料の調達から、商品の廃棄までのCO<sub>2</sub>の排出量がコンパクト化で減っていることを学ぶ。</li> <li>・さらなる環境への取り組みとして、洗濯すぎ時の節水を可能にした技術を「選択の流れ」「界面活性剤の役割」「新技術の内容」の順に学び、2人一組の実験でこの技術を体験する。</li> <li>・授業を通して商品を「使う、捨てる」場面でのCO<sub>2</sub>削減は自分たちの役割であることに気づく。</li> </ul>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
大阪ガス 兵庫リビング営業部	湊翔楠中学校第1学年	調理室(3F)
【授業概要】	【授業風景】	
<p>『『エコ・クッキング』出張授業』</p> <p>エネルギー環境教育「エコ・クッキング」は、地球環境を考えながら「買い物・調理・片付け」など食に関連する一連の行動について学ぶ実践型プログラムである。</p> <p>食べ物やエネルギーを大切にする、水を汚さない、ゴミを減らす工夫について座学と調理実習を交えて理解を深める。</p> <p>※「エコ・クッキング」は東京ガス(株)の登録商標。</p>		

<高等学校>

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
生命保険文化センター	葺合高校第2学年	研修室1（4F）
【授業概要】		【授業風景】
<p>「生命保険実学講座」</p> <p>「生命保険のしくみと役割」について、実際の授業で使用する教材「生活とリスク管理」を用いて、大学・高校で行う出前授業の様子を紹介するとともに解説する。</p>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
日本ファイナンシャル・プランナーズ協会	葺合高校第2学年	研修室1（4F）
【授業概要】		【授業風景】
<p>「高校生のためのライフプランニング」</p> <p>社会人になり自立すると、自分自身で人生を設計しなければならない。そのために、高校生のうちに知っておきたい事、意識しておきたい事を解説する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何故、ライフプランニングが必要なのか、お金の知識が必要なのか？</li> <li>→『人生』と『お金』と『仕事』との関係性など</li> <li>・高校、もしくは大学等卒業後のライフプランとそれにかかるお金について</li> <li>・ライフプランを実現するためのお金の貯め方・使い方</li> <li>→Needs と Wants、意思決定の方法など</li> </ul>		

【企業・団体名】	【実施学年】	【教室】
全国銀行協会	葺合高校第2学年	第5会議室（4F）
【授業概要】		【授業風景】
<p>「カードゲームで生活設計を体験してみよう」</p> <p>人生には様々な選択肢があることに気づき、計画性をもって生活していく必要があることをカードゲームを通じて体感する。5人前後の班ごとに、カードを引くことで、収入・基本生活支出・結婚・子ども・住居・イベント&amp;アクシデントとそれに伴う費用が決まり、シートに記入することで記録・計算を行う。各班に結果を発表してもらいながら、収入と支出のバランスの大切さなどについて振り返りを行う。</p>		

### (3) 神戸市の取り組み公開

消費者問題解決の専門家を養成する神戸コンシューマー・スクールの4期生(24年度入学)がゼミナールの研究発表を3つのグループに分けて行った。あわせて、くらしのいきいきトークとして、消費者教育に係る講座を実施した。

#### ① 神戸コンシューマー・スクール研究発表

テーマ	発表者	発表内容
ストレス社会におけるサプリメントとの付き合い方	大塚 里枝 川島 郁子 鈴木 寛子	ストレス社会におけるサプリメントとの付き合い方をテーマに、サプリメントはどのような時代を反映しているのかについて発表する。
SNSを使うと、旅行は、その内容を豊かにできるか?	今村 充 塩崎 美由紀 緋本 順子	「SNSを使うと、旅行は、その内容を豊かにできるか?」をテーマに、その場合、旅行を楽しく豊かにする、SNSの上手な使い方とは、について発表する。
幸せな生活とは	秋山 ひろみ 上田 明子 上代 節子	「幸せな生活とは」をテーマに、何に価値を求めるのかについて発表する。

#### ② くらしのいきいきトーク

テーマ	講師	発表内容
今、くらしに役立つ話題	小西 宏子	日々のくらしの中で、必要な消費生活の情報について、最近話題になったことや事例を中心に、学ぶ。
表示とマーク(食品)	大伴 洋子	表示やマークを見て理解し、選ぶ手がかりにすることができるように、商品を見ながら学ぶ。
悪質商法にご用心	郡 玲子	神戸市生活情報センターに寄せられている最近の相談事例の紹介や、受講生の経験談をお聞きし、契約やクーリング・オフなどを学ぶ。
悪質商法にご用心(高齢者の見守り)	尾崎 摂津子	悪質商法の具体的な事例を交えながら紹介し、その手口や消費者トラブルの発見に結びつくような「気づき」などを学ぶ。

#### (4) 資料の展示

◇以下の 30 の企業・団体等(※)が教材・資料の展示を実施した。

##### <実施団体一覧>

(特非)ACE	全国銀行協会
SMBCCコンシューマーファイナンス	全国消費生活相談員協会
大阪ガス	全国大学生生活協同組合連合会
花王	第一生命保険
カルビー	東芝
金融広報中央委員会	トヨタ自動車
経済広報センター	日本クレジット協会
KDDI	日本自動車工業会
神戸市	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント 協会(NACS)西日本支部
(独)国民生活センター	日本ファインソシヤル・プランナーズ協会
コープこうべ	日本弁護士会連合会
シャープ	日本労働組合総連合会
消費者関連専門家会議(ACAP)	野村ホールディングス
消費者教育支援センター	パナソニック
消費者庁	
生命保険文化センター	

##### <展示の様様>





## (5) ミニパネルディカッション

「学校・教育委員会」、「消費者行政部局」、「消費者団体」、「事業者」のそれぞれのセクターが抱える課題について、グループ討論形式のディスカッションを行い、同じセクター内での課題の共有化を目指した。あわせて、異なるセクターの意見にも触れることで、お互いにどのようなことを考えているのか、気づきのきっかとなることを目指した。

### 【パネリスト等】

[総合コーディネーター] 西村 隆男 横浜国立大学教授

<p>&lt;学校・教育委員会&gt; [ファシリテーター] 上村協子 東京家政学院大学教授 [パネリスト] 早川三根夫 岐阜市教育委員会教育長 平山直樹 神戸市立本庄小学校校長 巽 幸代 神戸市立湊翔楠中学校教諭 山田知子 香川県教育委員会高校教育課主任指導主事 伊藤智裕 岐阜市立長良東小学校教諭 岡崎竜子 金融広報中央委員会事務局企画役 柿野成美 消費者教育支援センター 主任研究員</p>	<p>&lt;消費者行政部局&gt; [ファシリテーター] 藤井孝明 神戸市消費者教育担当課長 [パネリスト] 内藤恵美 富山正明千葉市消費生活センター消費生活係長 野条昇次 西宮市消費生活センター所長 川村貴子 兵庫県生活消費局参事 兼 消費生活課長 中西勇太郎 鈴鹿亀山消費生活センター所長 富山正明 車津市生活安心課消費生活センター</p>
<p>&lt;消費者団体&gt; [ファシリテーター] 根岸 哲 甲南大学法科大学院教授 [パネリスト] 小西宏子 神戸市消費者協会 古河憲子 NPO法人ひょうご消費者ネット理事 隅田幸博 大学生協阪神事業連合専務理事スタッフ 渡辺富美 NACS西日本支部 木荘達子 全国消費生活相談員協会関西事務所長</p>	<p>&lt;事業者・事業者団体&gt; [ファシリテーター] 馬場新一 ACAP西日本支部長 [パネリスト] 高橋文子 パナソニック 岡 里恵 コニシ株式会社 細江 文 大阪ガス 山下俊章 第一生命 片山洋一 SMBCコンシューマーファイナンス 山田太知 全国銀行協会</p>

### 【概要】

それぞれの発表の概要は以下のとおり。

#### ① 学校・教育委員会

学校教育で消費者教育を実施するのは有用であることについて、もっと教員に認識してもらう必要がある。

教員が地域の中心となって学校間の連携を促進する必要がある。

## ② 消費者行政部局

消費者行政部局のコーディネート力を高めることが重要である。  
とりわけ、学校の先生との連携が重要である。

## ③ 消費者団体

学校と消費者団体との間で連携を進めるとともに、消費者団体相互の連携や協力を促進させることが重要である。

高齢者と若者だけではなく、その間の子育て世代への教育が重要である。

## ④ 事業者団体

企業としても、自社の得意分野を活かし、消費者に正しい商品知識や環境問題に関する知識等を提供し、消費者市民社会の形成に寄与することが望ましい。

企業と学校をつなぐコーディネーターの役割が必要である。

### 【ミニパネルディスカッションの様様】



## 2. 2日目（1月31日）

### (1) 挨拶

文部科学省生涯学習政策局長 合田 隆史

神戸市長 矢田 立郎

### (2) 特別講演「欲しいものは買うな。必要なものを買え。」

弁護士 菊地 幸夫



### (3) パネルディスカッション

#### テーマ「神戸から発信するこれからの消費者教育」

コーディネータ 西村 隆男 横浜国立大学教授  
(文部科学省 消費者教育推進委員会 委員長)

パネリスト 根岸 哲 神戸大学名誉教授  
甲南大学法科大学院教授  
今北 恵子 神戸市教育委員会指導部  
指導課中等教育係 指導主事  
馬場 新一 公益社団法人消費者関連専門家会議  
西日本支部長  
大伴 洋子 神戸市消費者協会

「学校・教育委員会」、「消費者行政部局」、「消費者団体」、「事業者」の4つのセクターを代表したパネリストにより、1日目のパネルディスカッションを踏まえた意見交換を行った。主な意見の概要は以下のとおり。

- ◇どのセクターも消費者教育の実施について、主体間の連携・協働を進めていくことが重要である。
- ◇連携強化に向け、意見交換や学びの場を増やすとともに、様々なセクターと教育現場とのニーズをマッチさせるコーディネーターの存在が重要である。
- ◇他のセクターとの連携だけではなく、セクター内での連携・協働の推進も重要である。
- ◇学校現場では、消費者教育に関するノウハウが不足しているとともに、連携が足りない。
- ◇事業者は、主に社会貢献として出前授業を行っており、各地域に出前授業等を展開していくためには、一企業だけではマンパワーが不足している。

### ＜シンポジウムの模様＞



## V. 消費者教育フェスタ in 東京の様様

日時：2013年2月27日(水) 13:00～18:15

28日(木) 9:00～12:00

場所：イイノホール、

イイノホールカンファレンスセンター(ルームA、ルームB)

### 1. 1日目(2月27日)

#### (1) 挨拶・行政説明

- ① 開会挨拶 文部科学大臣政務官 義家 弘介
- ② 行政説明
  - (a) 文部科学省 生涯学習政策局 笹井 男女共同参画学習課長
  - (b) 初等中等教育局 塩見 教育課程課長
  - (c) 消費者庁 長谷川 消費生活情報課長

#### (2) リレートーク

テーマ「さまざまな視点から、消費者教育を考える」

##### ① 消費者教育フェスタ in 神戸の報告

荒木 武文 神戸市市民参画推進局市民生活部消費生活課長

神戸の消費者教育フェスタで行ったミニパネルディスカッションでは、異なるセクターとの間や、セクター内での連携・協働をもっと進めるべきという意見が多かった。

今後、取り組みをつなぐコーディネーターの役割が重要となる。

##### ② 学校教育における消費者教育の広がり

坂野 美恵 岐阜市教育委員会学校指導課主査(岐阜市教育研究所)

昨年度、岐阜で行った消費者教育フェスタの経験を踏まえ、学校における消費者教育を充実させている。具体的には、①キャリア教育等の他の教育を実施する際に、消費者教育的な要素を盛り込んだり、②消費生活センターや家庭と連携・協働し、出前授業等のプログラムを実施したりしている。

### ③ 社会教育における企業との連携

近藤 真司 (財)日本青年館「社会教育」編集長

木村 嘉男 野村証券株式会社 投資情報部次長 兼 証券学習開発課長

雑誌「社会教育」において、野村グループの金融教育の取り組みを継続的に取り上げている。

野村グループでは出前授業等を実施しており、受講者数は述べ30万人、実施講座数も約1200回にのぼる。

### ④ 持続可能な社会を担う人材とは

古谷由紀子 社会的責任に関する円卓会議 旧人を育む基盤の整備WG主査  
(公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会(NACS)常任顧問

「社会的責任に関する円卓会議」は、政府だけでは解決できない社会的課題に対して、広範な主体が協働して自ら解決にあたるマルチステークホルダー・プロセスの組織である。現在、「旧人を育む基盤の整備WG」の有志により、持続可能な社会を担う人を育むための原則案を検討している。原則案では、持続可能な社会の発展を担う人を育むうえで「大切にしたい3つの考え方」として、(a)人をいつくしむ、(b)未来につなぐ、(c)自ら行動することを掲げている。さらに、「大切にしたい3つの取り組み方」として、(a)動いて感じる、(b)多様な人とつながる、(c)広く伝えることを掲げている。

本原則案について、意見をお寄せいただきたい。

### 【リレートークの様様】





### (3) パネルディスカッション

テーマ「ともにつくり上げる消費者教育の姿とは」

～消費者教育推進法の施行を受けて～

- ◇コーディネーター 西村 隆男 横浜国立大学教授
- ◇パネリスト 上村 協子 東京家政学院大学教授
- 市毛 祐子 茨城県教育庁高等教育課指導主事
- 清國 祐二 香川大学生涯学習教育研究センター
- 河野 康子 全国消費者団体連絡会事務局長
- 長谷川公彦 (公社)消費者関連専門家会議(ACAP)専務理事
- 古谷由紀子 社会的責任に関する円卓会議 人を育む基盤の整備WG主査 NACS 常任顧問

消費者教育推進法の施行を受け、大学教授、地方自治体、消費者団体、事業者等が、今後のさらなる連携・協働の推進に向けた課題について意見交換を行った。主な発言は以下のとおり。

#### 【主な発言】

- ◇消費者教育推進法の趣旨を踏まえ、社会や地域コミュニティーを豊かにするという視点を持つことが重要である。
- ◇今後、能動的・主体的な連携・協働による「アクティブ・ラーニング」と、地域での連携・協働を通じた「消費者教育の地産地消」が進む。
- ◇事業者のCSR活動との連携・協働を意識して、消費者教育を推進すべきだ。
- ◇企業のCSRと同様に、「消費者市民社会」の実現に向けて、消費者も社会的責任を果たすという流れが広まることを期待したい。
- ◇連携のためのプラットフォームの構築や担い手の育成が重要である。
- ◇「消費者教育フェスタ」の実施や「持続可能な人材育成に係る原則」案の検討等を通じて、様々なセクターがお互いの利害を超えて連携・協働することにより、相互理解が進むことを実感した。円卓会議の形式はコーディネーターの育成にも有効である。各地域で活用すべきだ。

## 【パネルディスカッションの様様】



#### (4) 分科会

学校教育、社会教育のそれぞれの分科会に分かれ、講演や事例発表、意見交換等を行った。

##### ① 学校教育分科会 ～学校における取り組み事例の発表～

◇講演 島田 広 弁護士

「北欧の消費者教育と消費者教育推進法について」

◇事例発表 ① 栃木県宇都宮市立陽西中学校の事例(技術・家庭科(家庭分野))

富田 友子 栃木県宇都宮市立陽西中学校 校長

大川 美子 栃木県宇都宮市立陽西中学校 教諭

② 高知県教育委員会の事例(教員研修等の取組)

別役 千世 高知県教育委員会高知県教育センター 指導主事

##### 【概要】

講演では、社会的課題に対する関心が高まりや消費者教育推進法の施行を踏まえ、消費者市民社会を構築するため、どのような消費者教育が行えばよいか、北欧の事例を紹介しつつ、説明した。

また、事例発表では、中学校の家庭科における消費者教育の授業実践の工夫や、教育委員会における教員研修の充実の方策等について、報告がなされた。

##### ② 社会教育分科会 ～地域における連携・協働のヒント～

◇事例発表 ① 地域をつなげる“子ども大学”

加藤 美幸 埼玉県教育局市町村支援部生涯学習文化財課副課長  
兼 主任社会教育主事

② 地域総働型のESDの取組

池田 満之 NPO法人持続可能な開発のための教育の10年推進  
会議(ESD-J)副代表理事

③ マルチステークホルダーによる取組

戸田 達昭 やまなしの翼プロジェクト代表

◇意見交換 [進行] 清國 祐二(香川大学生涯学習教育研究センター長)

##### 【概要】

事例発表では、埼玉県の「子ども大学」、岡山県岡山市におけるESDの取り組み、山梨県における地域課題の解決に資する熟議・協働の生涯学習の取り組みなど、各地域で実践されているマルチステークホルダーの取り組みについて、報告が行われた。その後、有識者も交えて、連携・協働を円滑に進めるための秘訣などについて、意見交換を行った。

## 【分科会の模様】



## (5) 情報交換会

分科会終了後、ホワイエ等で各セクターの参加者が挨拶や名刺交換等を行った。

### 【情報交換会の模様】



## 2. 2日目(2月28日)

### (1) ワークショップ「ともにつくる消費者教育」

総合コーディネーター

上村 協子 東京家政学院大学教授

あんびる えつこ 子供のお金教育を考える会代表

ファシリテーター

柿野 成美 公益財団法人消費者教育支援センター主任研究員

須黒 真寿美 公益財団法人全国消費相談員協会消費生活専門相談員

全国から参加者を募り、多様なセクターの関係者（学校教育、消費者行政、消費者団体、事業者団体等）が一同に会し、「ともにつくる消費者教育」をテーマに、グループ形式による共同作業を行った。

児童、青少年、親子、高齢者というテーマのもと、計8グループが消費者教育の教材を体験し、多様な主体が連携できる事業を企画した。さらにそれに基づいて、連携・協働のためのイメージマップを作成し、事業の詳細等についてプレゼンテーションを行った。

#### 【各グループの使用教材とテーマ】

チーム名	教材名(教材提供元)	事業のテーマ
児童A	子ども向け消費者教育ゲーム(東京都足立区)	足立っ子くらしの学び教室 in 宿泊学習
児童B	買い物じょうずはエコ上手(横浜市)	買い物じょうずはエコ上手
青少年A	なめがたくらしの安全読本(茨城県行方市)	未来を担う中高生に消費者 力をつけよう!
青少年B	社会をつなぐあなたの消費(沖縄県)	社会をつなぐあなたの消費
親子A	おつかいすごろく(文部科学省)	～ママ助けて～ パパと一緒に おつかいチャレンジ!
親子B	親子で学ぶさいふ学(公益社団法人 全国消費生活相談員協会)	はじめてのおくりもの
高齢者A	えひめ消費生活かるた(愛媛県)	かるたで学ぼう ～だまされ ないぞ!! 悪質商法～
高齢者B	いっこく堂の消費者トラブル見守り 隊(神奈川県)	笑って学ぼう! 悪質商法の 話

## 【各グループが発表した事業の概要】

### ① 児童Aチーム

宿泊学習の際に、教材を使用して、正しい買い物の仕方を学ぶ。宿泊学習の帰り道に、地元の商店街に寄るなどして、正しい買い物の仕方を実践する。学校は場の提供、自治体は教材の提供、商店街は実践の場の提供というかたちで協力できる。

### ② 児童Bチーム

生協等の店舗の協力を得て、子どもが実地で買い物の仕方について学ぶ。講師として、消費者団体やNPO等を招き、表示の見方や製品の環境的な側面について教えるとともに、学校や自治体等が広報や案内等に協力する。

### ③ 青少年Aチーム

学校ではなく、地域のサッカーチームを対象に、消費者教育を実施する。それぞれの主体が、強みを持ち寄り、地域における連携を強化するかたちで、消費者トラブルを防止する。

### ④ 青少年Bチーム

携帯電話の購入(契約)をテーマに、学校で行う授業のなかで、地域の消費者団体や事業者がそれぞれの強みを持ち寄るかたちで協力する。行政は、全体をコーディネートする。

### ⑤ 親子Aチーム

小売店のPR企画として、父親と子どもがおつかいに挑戦するイベントを行う。学校や行政、消費者団体等は企画や案内に協力する。「親の手伝いをしたい」という子どものやる気を引き出すとともに、事業者の主体的な取り組みが期待できる。

### ⑥ 親子Bチーム

幼稚園で親への贈り物を買うバザー等を開催し、買い物の仕方と感謝の気持ちを学ぶ。地元の商店街等や地域のNPO等に販売等の運営の協力をお願いし、行政が全体のコーディネートを行う。

### ⑦ 高齢者Aチーム

消費生活センターが中心となり、民生委員や福祉関係の学生、警察等の協力を得て、地域の包括支援センターや介護事業所で悪質商法の被害防止のカルタを使った消費者教育を行う。被害防止とともに、地域での絆の構築や介護施設内の親睦を深めることができる。

### ⑧ 高齢者Bチーム

行政とボランティアが主催し、地域の様々な場所(町内会、地域包括支援センター)で、様々な主体(民生委員、商工会、介護事業者)と連携しながら、教材のDVDを通じて、地域のきずなが深まる教育を行う。地域のきずなが深まることは、高齢者を見守るネットワークの構築につながる。

【ワークショップの様様】



### 3. 企業・団体等による消費者教育の教材・資料等の展示

◇以下の 35 の企業・団体等(※)が教材・資料の展示を実施した。

場所：イイノホール カンファレンスセンターB

#### <実施団体一覧>

(特非)ACE	(特非)育て上げネット
SMBCコンシューマーファイナンス	損害保険ジャパン
花王	第一生命保険
カルビー	東京都墨田区立八広小学校PTA
金融広報中央委員会	東芝
経済広報センター	トヨタ自動車
KDDI	日清製粉グループ本社
神戸市	日本クレジット協会
(独)国民生活センター	日本自動車工業会
コープこうべ	日本消費生活アドバイザー・コンサルタント
シャープ	協会(NACS)
消費者関連専門家会議(ACAP)	日本生活協同組合連合会
消費者教育支援センター	日本損害保険協会
消費者庁	日本ファインソシヤル・プランナーズ協会
生命保険文化センター	日本弁護士会連合会
全国銀行協会	日本労働組合総連合会
全国消費生活相談員協会	野村ホールディングス
全国大学生生活協同組合連合会	文部科学省

#### <教材・資料の展示の様相>





以上